

葛尾村の現状と かつらおむら村創造協議会に ついて

葛尾村の概要

2



- 面積 84.23km² 標高 434m
- 人口 1,531人 (高齢化率 31.38%)
- 主要産業 水稲、葉タバコ、肉用牛、乳用牛
- 産業別人口 1次 301人 2次 245人 3次 297人
- 小学生 68人・中学生 44人・幼稚園児 33人
- 医療機関 内科(週2回半日)・歯科(週3日)

- 平成23年3月14日 全村避難。
福島市あづま体育館へ
翌日会津坂下町へ移動し、会津地方で約4ヶ月の避難生活
- 平成23年7月
三春町の仮設住宅へ入居開始
現在三春町に仮設住宅10団地
(仮設53% 借上35%)
(三春57% 郡山田村地方84%)
- 平成23年9月 幼稚園開設
平成25年4月 田村市の旧要田中学校に葛尾小中学校を開校(生徒20名)
8月から幼稚園移設(児童6名)

葛尾村が抱える課題

3

- 除染の進捗状況が思わしくない⇒計画見直し報道(9/10)
- 国が直轄処理することになっている片付けごみ、被災家屋等の解体などが手つかず⇒帰還の妨げ
- 帰村希望(予定)人数が少ない
- 若年層、中年層の帰村が極端に少ない(見込み)
- 復興住宅入居対象か否か、家賃の賠償対象期間や非入居者の現物給付期間の違い⇒コミュニティ維持が難しい
- 商店の帰村・再開が未だ不明確
- 産業・雇用が少ない⇒帰村判断への迷い
- 医療・福祉が弱い⇒帰村判断への迷い
- 村内での学校再開の判断

復興検討調査会について

4

- 平成24年1月28日
第1回『復興検討調査会』開催
復興検討調査会は、復興計画を策定するため村の復興委員会の下部組織として発足。
- 毎週水曜日に仮設集会所で開催。全39回。
- 平成24年11月14日『第一次復興計画』が完成したため、休会。



かつらおむら村創造協議会の設立

5

- 復興計画の策定とともに検討調査会の休会案
- ↓
- 座長、検討調査会メンバーから、若い人の声を集められる場を存続させようという声
- ↓
- 「村創り協議会設置準備会」という形で、31回開催
- ↓
- 平成25年8月6日、第1回『かつらおむら村創造協議会』を開催

協議会のめざすところ

6

- ①. 企画系(イベント企画、実行委員会運営など)
- ②. 文化系(教育、文化、伝統芸能、人づくり、絆づくり、スポーツクラブ、PTAなど)
- ③. 産業系(新技術開発、後継者育成、除染関係、視察研修、和牛研究会など)
- ④. 政策系(復興計画の検証、政策提言、要望書提出、補助金関係、議会など)
→後々はNPO法人化も含めて検討。



協議会のステップアップ

7

ステップ① イベント企画等を行い、実績を積み、住民や行政のオーダーの受け皿となる力をつける。

ステップ② 教育関連の議論やスポーツクラブなど他の組織と連携する。

ステップ③ 受け皿として構築され、新技術開発、人材育成、研究会など踏み込んだ議論を展開する。

ステップ④ 受け皿として盤石となり、政策提言も可能。



活動の様子①

8

□ 先進地研修

(まちづくり・山形県最上町)



- ・町ぐるみで「子育て」を推進
- ・こどもが地域の主役となっている
- ・地域が「好き」なこどもが育つ

(植物工場・宮城県)



- ・全自動化でパプリカの水耕栽培
- ・販売ルートまで一貫したシステム
- ・太陽光の有効活用

活動の様子②



【本日の流れ】

16:00	スタート（わたアメの配布）	
16:15	開会式 来ひん（村長）あいさつ	
16:30	竹づつキャンドル 点灯 （サポートセンターの中へ移動）	
17:00	クリスマスケーキのデコレーション	
17:15	幼稚園・小学校・中学校校歌 斉唱 「いただきます」の あいさつ 会食	
18:00	ゲーム大会	
18:30	サンタさん から プレゼント （外へ移動）	
19:00	閉会式 記念撮影	

その他

- ・スケジュールは、多少の前後があります。
- ・荷物がある場合、サポートセンター中の会議室に置いてください。（貴重品には、気をつけてください）
- ・動画、写真の撮影を行っています。後日、YouTubeなどで配信されます。



関係者

- 主催** : かつらお子供絆クリスマス会実行委員会
共催 : 葛尾村社会福祉協議会、かつらお保護者会、かつらお村づくり協議会設置準備会
後援 : NPO法人あぶくま地域づくり推進機構、葛尾村スポーツクラブ、葛尾村老人クラブ連合会、葛尾村食生活改善推進委員会

ご支援をいただいた方（一部重複）：

イルミネーション

- ・金谷 喜一 様
- ・石井 勝治 様
- ・松本 勝昭 様
- ・半九レインボースポーツクラブ（宮崎県）
- ・東京在住 個人様（2名）

プレゼント

- ・三菱ビルテクノサービス株式会社労働組合（プレゼント）
- ・有限責任事業組合おーでらす（プレゼントバッグ）
- ・りんご野
- ※原発事故を機に結成された有志団体で、日本・バリ等で活動しています。この会のために、青森県産のりんご、バリからプレゼントの中に入っているハンカチ等をいただきました。
- ・沖縄尚学高校 教員・生徒（お菓子）
- ・株式会社ホンダレーシング（お菓子）
- ・社会福祉法人三春町社会福祉協議会（お菓子）

食べ物など

- ・かつらお保護者会
- ・葛尾村食生活改善推進委員会（カップケーキ）
- ・NPO法人あぶくま地域づくり推進機構
- ・吉田 照治 様（飲み物）

その他

- ・公益社団法人助けあいジャパン（記録など）

※この他にも、多くの方々から、ご支援・ご協力をいただいています。

活動の様子③

10

□ かつらお子供きづなクリスマス会のようす



協議会の現状・課題

- 毎週火曜日開催
- 現在は去年同様クリスマス会の開催に向けて計画
画中
- 愛称を作るなど、住民により身近な印象をあたえ、
認知度を上げるため試行錯誤中
- 協議会メンバー内でも、会に対する認識が異なり、
目的など共通事項を確認、共有する必要がある
- 現在は、役場関係者の参加者数が村民を上回る
こともあり、一部少数の村民しか参加していない
- **実績がない・村民参加率が低い**

協議会の今後の取り組み

- 実績を積み、住民や村の要望の受け皿となれるような会を目指す
- より多くの村民の参加(特に若者)
- 認知度アップ
- 定期イベントの開催
- 住民交流イベントへの協力・参画
- 他団体との交流
- 会員のスキルアップ・視察研修
- 再開される検討調査会への参加

ご静聴ありがとうございました。

葛尾村総務課復興対策係

E-mail hukkoutaisaku@vill.katsurao.lg.jp

E-mail(個人) kanno-masahiro-01@vill.katsurao.lg.jp

Tel 0247-61-2850(代)